

---

# 《音のない世界》

深海

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

《音のない世界》

### 【Nコード】

N3818V

### 【作者名】

深海

### 【あらすじ】

耳が聞こえない。

それは、自分にとっては――？

耳が聞こえない——いわゆる、“聴覚障害”。

先天性 うまれつき の聴覚障害には原因が多く、原因が判明しているものでは母体に何らかの害があったり薬物によるものだったりする。

後天性 うまれつきじゃない の聴覚障害には原因がきちんと分かっているものが多く、乳幼児時の高熱や病気、事故による中途失聴などがある。

私は——先天性か後天性かも分からないまま、一歳半年を過ぎた頃に“感音性難聴”と判明した。

昔の日本において、最も進んでいたのは盲教育であるとされている。それは室町時代であろうか、盲人の琵琶師が『平家物語』を語り継いだとされ、琵琶師や鍼灸医として盲人独特の団体が存在していたとのことである。

では——ろう教育は進んでいたかと問われると、答えは否である。

役に立たない人間として疎まれ、学校にも通わせてもらえず、言葉も知らず、家の中に閉じ込められていた時代でもあったのだ。

そのことを考えると、今の時代は恵まれているのだろう。

私は誰よりも環境に恵まれているかも知れない。

誰よりも何よりも私を理解し、信じてくれる母親の存在。

何よりも誰よりも私を見守り、支えてくれる父親の存在。

幼稚園や小学校、中学校、高校、通園施設で出会った数多くの優しくも厳しくもある恩師の存在。

私の障害を理解しようと努め、極普通の障害も何もない少女のように他愛のない会話を楽しみ、気軽に遊びに行ける友人達の存在。

学校においては赤点を取ったことも少なく、成績は学年内で上位十番の中に入ることもあった程。

こういった学歴や人生を聞けば、誰よりも幸せな環境で育ったように見えるかも知れない。

けれども――私は、ずっと、言いたかった。

一度だけでも良いから、お母さんの、お父さんの、声を――聞きたい。

お母さんやお父さんが私を呼ぶ声を、聞いてみたい。

お父さんは、どんな声で私を呼ぶの？

お母さんは、どんな声で私を呼ぶの？

一度だけで良いから———どうか。

そう願うことを止めたのは、中学校の最高学年の時だろうか。

少しずつ少しずつ、諦めていくようになった。

だって、どうやっても聞こえるようにはならない、それが聴覚障害なんだから。

私は一度も母親に「どうして私は聞こえないの？」と質問をぶつけたことがなく、そして今後も聞くつもりは全くない。

たまに「お母さんの所為だって思わないの？」と聞かれることがある。

だって、お母さんは私に聴覚障害があると分かった時点で何回も自分を責めた筈だから。

だから私は母親に何も聞かず、ただ良き母娘として今までの通りに接していくだけだ。

私は生きていく。

聴覚障害のある人間として。

死に逝く瞬間まで、音のない世界を。

ずっと——生きていく。

耳が聞こえない、それが私の誇り。

耳の聞こえる私なんて私じゃないんだもの。

それは別人。

耳の聞こえない私だからこそ、私であると言える。

それが私の誇り。

いつか、胸を張って言えるのだろうか。

私は耳の聞こえない人間であることに誇りを持っています、と――

END

（後書き）

実際に私は耳が聞こえません。

それがどういふことなのかを考えてもらえたら、  
と思って投稿を  
決意しました。

家族や友人たち、恩師の存在に触れていますが、  
文中以上の詳しい  
事は載せるつもりはありません。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3818v/>

---

《音のない世界》

2011年10月8日13時22分発行